

## は し が き

本県の水産業・漁村を取り巻く環境は、資源状態の悪化や輸入水産物との競合、魚価の低迷、漁業就業者の減少・高齢化に加え、近年の燃油価格の高騰など、依然として厳しい状況にあります。

県においては、このような情勢や国の方針等を踏まえながら諸施策を実施し、力みなぎる水産業づくりを推進しています。

当センターにおきましても、「水産技術の開発と普及」を図るため、漁海況情報の迅速な提供、カンパチ等有用魚介類の種苗生産技術開発、資源管理や藻場造成の技術開発など、多様化する研究ニーズに対応した研究を進めているところです。

平成20年度は、センターに再編・統合してから5年目にあたり、スジアラ、カンパチ等の種苗生産技術の向上や、漁業情報の迅速な提供、新たな水産加工品の開発などの成果がみられました。

また、競争的資金や国の提案公募型研究事業などの外部資金の積極的な導入により、低コストな養殖用飼料の開発や蓄養サバの高品質化のための技術開発などに着手しました。

ここに、水産技術開発センターが平成20年度に実施した試験研究等の結果を「事業報告書」として取りまとめましたので、参考にしていただければ幸いです。なお、これまで事業報告書は、試験研究の概要のみ掲載していましたが本年度より内容を充実し、より詳細に試験研究結果を掲載しました。

今後とも、多様化・高度化するニーズに的確に対応しながら、計画的で効果的な試験研究に取り組むこととしておりますので、皆様の御理解と御協力をお願いします。

平成21年9月

鹿児島県水産技術開発センター  
所長 佐野悦郎